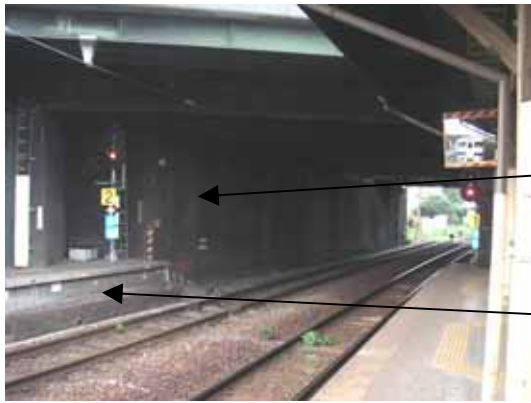


『折尾レトロ』の提案（歴史的価値や意義のためにも、折尾駅舎を現在の位置付近に！！）

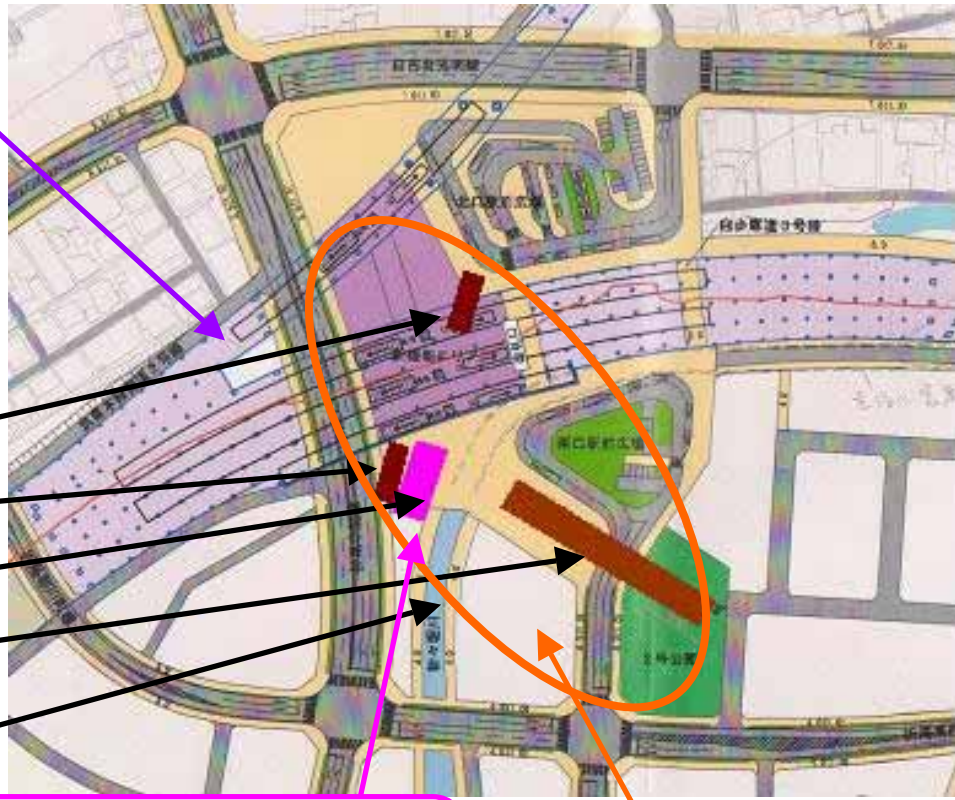


高架後の線路とホーム

歴史を物語る壁
蒸気のできる赤煉瓦とススで黒くなった上部が地層のようにになっている
筑豊本線ホームの石積み
築120年を超える



- 日本初立体交差
- ホームと線路
- 折尾駅舎
- ねじりまんぼ（3連+3連）
- 堀川運河



汽車道（横浜）
レールを実際に埋め、枕木にみせかけたウッドデッキの歩道
ガラスの床（旧新橋停車場）
駅舎の礎石が見られる

折尾駅舎は南側（中間方向）に約20m移動させることでほぼ全体を残せます。

折尾レトロに！
先人の知恵や、折尾の文化・歴史を未来の折尾の街や子どもたちに伝承しましょう！！

日本初の立体交差部分は折尾駅舎、ホームの石積みや線路高架後の鹿児島本線や筑豊本線でイメージすることもできます



『冬の風物詩・折尾駅舎と堀川運河』
景観発見賞受賞（2007年度）
白石書店側への移動で、川面に折尾駅舎の全景が映るようになる